

入学試験問題

試験科目名 文化財科学

問題Ⅰ

出題意図-----

- (1) 文化財科学における基本的な分析手法を問う。特に、考古資料の研究に用いられる代表的な方法に関する基礎知識を確認することを目的とする。
- (2) 文化財科学の分析手法は万能ではなく、対象資料の素材や保存状態によって結果の解釈が異なる。そのため、各手法の特性を理解し、適切に適用する能力が求められる。本問では、分析方法の原理と適用条件に関する専門知識を問う。

問題Ⅱ

出題意図-----

- (1) 細胞壁や含水率といった基本概念を用いて、遺跡出土木製品の劣化状態と劣化程度を評価する基本的な知識を問う問題である。これにより、考古学や文化財科学における保存処理の基礎知識の習得状況を確認する。
- (2) 水浸出土木材は乾燥によって不可逆的な変形・収縮が生じるため、適切な保存処理が必要となる。本問では、代表的な保存処理方法を挙げ、それぞれの原理・手法・利点・欠点を説明することで、遺跡出土木製品の安定的な保存と展示のための専門的な知識を問う。